

TR-8S

RHYTHM PERFORMER

取扱説明書

Roland



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に『安全上のご注意』と『使用上のご注意』（『安全上のご注意』チラシと取扱説明書（P.2））をよくご覧ください。
お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2018 ローランド株式会社

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

取扱説明書 (本書)

最初に読んでください。使いかたの基本操作を説明しています。

PDF マニュアル (Web からダウンロード)

- リファレンス・マニュアル
詳しい使いかたについて解説しています。
- MIDI インプリメンテーション
MIDIメッセージの詳細資料です。

PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。
<https://www.roland.com/jp/support/>
2. Support メニューの「取扱説明書」を選びます。
3. 製品名「TR-8S」を選びます。

安全上のご注意

警告

付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



使用上のご注意

設置について

- ・設置条件（設置面の材質、温度など）によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。

修理について

- ・修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できないときもあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・当社は、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- ・記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- ・失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ・ご使用の年月とともに、パッドのゴム表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。
- ・抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

外部メモリーの取り扱い

- ・外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - ・読み込み中や書き込み中には取りはざさない。
 - ・静電気による破損を防ぐため、取り扱い前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

知的財産権について

- ・第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ・第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。
- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- ・SD ロゴ  および SDHC ロゴ  は SD-3C、LLC の商標です。
- ・ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbH の商標およびソフトウェアです。

- ・本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- ・本製品は、T-Engine フォーラム（www.tron.org）の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- ・Roland、SCATTER は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- ・文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

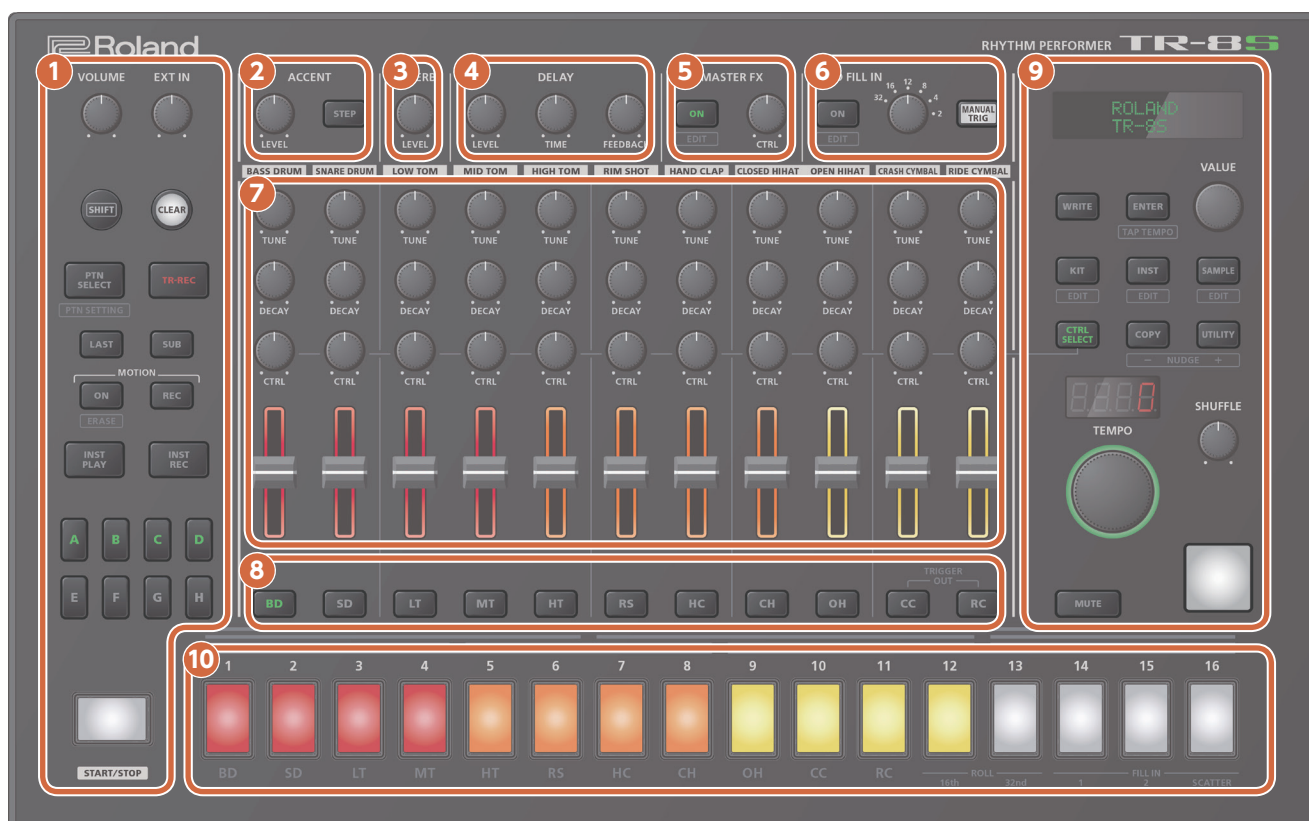
目次

安全上のご注意	2
使用上のご注意	2
各部の名称とはたらき	4
トップ・パネル	4
リア・パネル (機器の接続)	6
はじめに	7
電源を入れる	7
電源を切る	7
SD カードをフォーマットする (SD CARD FORMAT)	7
TR-8S の概要	8
パターンとは?	8
キットとは?	8
パターンを再生する	9
パターンを再生する	9
パターンを選ぶ	9
バリエーションの長さを変更する (バリエーションの LAST STEP の設定)	9
特定のトラックの長さを変更する (トラックの LAST STEP の設定)	9
ランダム・パターンを生成する	10
パターンをコピーする	10
パターンを削除する	10
バリエーションをコピーする	10
フィル・インのバリエーションを選ぶ	10
フィル・インを入れる (マニュアル・トリガー)	10
一定間隔でフィル・インを入れる (オート・フィル・イン)	10
リバーブやディレイを調節する	10
マスター・エフェクト	10
TR-REC (ステップ・レコーディング)	11
サブ・ステップを入力する (SUB STEP)	11
フラムを入力する	11
弱音を入力する (WEAK BEATS)	11
オルタネート音色を入力する (ALT INST)	11
アクセントを指定する	11
記録したステップをトラックから消去する	11
MOTION の録音／再生	11
INST-REC (リアルタイム・レコーディング)	12
サブ・ステップを演奏する	12
フラムで演奏する	12
弱音で演奏する (WEAK BEATS)	12
オルタネート音色を演奏する (ALT INST)	12
録音したステップをトラックから消去する	12
MOTION の録音／再生	12
インスト・パッドを使う	12
インスト・パッドでインストを演奏する	12
インスト・パッドを使ってインストの演奏を録音する	12
INST-PLAY (演奏する)	13
サブ・ステップを演奏する	13
フラムで演奏する	13
弱音で演奏する (WEAK BEATS)	13
オルタネート音色を演奏する (ALT INST)	13
ロールを演奏する (ROLL)	13
パターンの設定をする (パターン・セッティング)	13

キットやインストをエディットする	14
キットを選ぶ (KIT)	14
キットの設定を変更する (KIT Edit)	14
リバーブの詳細設定	14
ディレイの詳細設定	14
マスター・エフェクト (MASTER FX)	15
[CTRL] つまみにパラメーターを割り当てる (CTRL SELECT)	15
[CTRL] つまみにインストごとに別の機能を割り当てる	15
複数のインストを重ねて鳴らす (GROUPING for Layer)	15
インストをグループ化する	15
インスト・トーンを選ぶ (INST)	15
インストの音色を変更する (INST Edit)	16
インストのパンを変更する (Pan)	16
インストのゲインを調整する (Gain)	16
キットをコピーする (KIT COPY)	16
LFO でパラメーターを変化させる	16
インポートしたユーザー・サンプルをインストに割り当てる	17
ユーザー・サンプルをインポートする (SAMPLE Import)	17
ユーザー・サンプルを選ぶ (SAMPLE)	17
ユーザー・サンプルの設定を変更する (SAMPLE Edit)	17
各種操作	18
グループの先頭にあるパラメーターにジャンプする	18
キット名などの文字の入力方法	18
パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)	18
パターンやキットをコピーする (COPY)	19
パターンを消去する (CLEAR)	19
MOTION の消しかた	19
弱音を演奏する (WEAK BEATS)	19
フラムの間隔を設定する	19
トラックをミュートする (MUTE)	20
選んだインストだけを鳴らす (SOLO)	20
テンポを変更する	20
タップ・テンポ	20
テンポのマーキング	20
発音のタイミングを微調整する (ナッジ機能)	20
他の機器との同期／録音をする	21
TB-3 と同期する	21
MIDI コントローラーとして使う	21
ASSIGNABLE OUT/TRIGGER OUT 端子をトリガー・アウトとして使う	21
インストを ASSIGNABLE OUT/TRIGGER OUT 端子へ割り当てる	21
外部からオーディオを入力する (EXT IN)	21
USB でパソコンと接続する	21
各種設定	22
工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)	22
SD カードにデータをバックアップする (BACKUP)	22
SD カードにバックアップしたデータを復元する (RESTORE)	23
便利な機能 (UTILITY)	23
エラー・メッセージ一覧	24
主な仕様	24

各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 共通セクション 1

[VOLUME] つまみ

MIX OUT 端子、PHONES 端子の音量を調節します。
※ ASSIGNABLE OUT 端子 (P.7) の音量は変化しません。

[EXT IN] つまみ

EXT IN 端子からの入力音量を調節します。

[SHIFT] ボタン

このボタンを押しながらボタンを操作すると、関係する設定画面を呼び出すことができます。

また、このボタンを押しながらパラメーターの値を変更すると、値の変化が大きくなります。

[CLEAR] ボタン

録音した内容をインストごとに消去したり、パターンを削除したりします。

[PTN SELECT] ボタン

パターンを選びます。

[TR-REC] ボタン

パターンをステップ・レコーディングします。

[LAST] ボタン

パターンの長さを設定します。

[SUB] ボタン

ステップに 2 連、3 連、4 連を設定します。

MOTION [ON] ボタン

インストごとに [TUNE]、[DECAY]、[CTRL]
つまみの操作情報 (MOTION) を再生します。

MOTION [REC] ボタン

インストごとに [TUNE]、[DECAY]、[CTRL]
つまみの操作情報 (MOTION) を記録します。

[INST PLAY] ボタン

パッド [1] ~ [13] を使って、リアルタイムに演奏します。
パターン再生中でも演奏できます。

[INST REC] ボタン

パターンをリアルタイム・レコーディングします。

[A] ~ [H] ボタン

パターンのバリエーション (A ~ H) を切り替えます。

[START/STOP] ボタン

パターンを再生/停止します。

※ インスト・トーンにサンプルを選んでるとき、インスト・エディットの設定によっては発音が自動的に止まらないときがあります。
パターン停止中、[SHIFT] ボタンを押しながら [START/STOP] ボタンを押すと、発音しているサンプルの音を止めることができます。

2 ACCENT セクション

指定したステップにアクセントを付けます。

[LEVEL] つまみ

アクセントの音量を調節します。

[STEP] ボタン

TR-REC 中は、パッド **[1]** ~ **[16]** でアクセントを付けるステップが選べるようになります。

3 REVERB セクション

10 ページ

[LEVEL] つまみ

リバーブの音量を調節します。

4 DELAY セクション

10 ページ

[LEVEL] つまみ

ディレイの音量を調節します。

[TIME] つまみ

ディレイの長さを調節します。

[FEEDBACK] つまみ

ディレイ音を入力に戻す量を調節します。

5 MASTER FX セクション

15 ページ

[ON] ボタン

マスター・エフェクトをオン／オフします。

[CTRL] つまみ

マスター・エフェクト (P.15) で設定した内容をコントロールします。

6 AUTO FILL IN セクション

10 ページ

[ON] ボタン

ON にすると、**[AUTO FILL IN]** つまみで指定した回数ごとにフィル・インが入ります。

[AUTO FILL IN] つまみ

設定した小節ごとに、自動でフィル・インが入ります。

[MANUAL TRIG] ボタン

ボタンを押すとフィル・インが入ります。

7 INST エディット・セクション

インスト・トーンの音質を調節します。

[TUNE] つまみ

チューニング (ピッチ) を調節します。

[DECAY] つまみ

余韻の長さを調節します。

[CTRL] つまみ

CTRL SELECT (P.15) で設定した内容をコントロールします。
※ トーンによっては、効果が得られないときがあります。

レベル・フェーダー

音量を調節します。

8 INST セレクト・ボタン

TR-REC 中は、録音の対象にするインストを選びます。
INST 画面や INST Edit 画面では、設定を変更するインストを選びます。

[TR-REC] または **[INST REC]** で **[CC]** ボタンを押しながら **[RC]** ボタンを押すと、TRIGGER OUT 端子 (ミニ端子) に出力するトリガーのパターンを入力することができます。

※ ASSIGNABLE OUT/TRIGGER OUT 端子 (標準端子) は関係ありません。

9 共通セクション 2**ディスプレイ**

パターン名やさまざまな設定を表示します。

[WRITE] ボタン

パターン／キット／システム設定を保存します。

18 ページ

※ エディット中のパターンやキットのパラメーターは、電源を切るまで記憶しています。別のパターンやキットを選んでから選び直してもエディット中の状態で復帰しますが、電源を入れなおすとエディット前の状態に戻ります。パターンやキットのエディット内容を残したいときは、そのパターンやキットを保存してください。

[ENTER] ボタン

主に値の確定や操作を実行するときに使います。

[VALUE] つまみ

値を変更します。

[KIT] ボタン

キットを選びます。

14 ページ

[INST] ボタン

インストの音色 (インスト・トーン) を選びます。

15 ページ

[SAMPLE] ボタン

サンプルの中からインストの音色 (インスト・トーン) を選びます。

17 ページ

[CTRL SELECT] ボタン

各インストにある **[CTRL]** つまみで、操作する項目を設定します。

15 ページ

[COPY] ボタン

パターン／キットをコピーします。

19 ページ

[UTILITY] ボタン

各種設定や初期化などをします。

23 ページ

TEMPO ディスプレイ

テンポを表示します。

[TEMPO] つまみ

テンポを設定します。

20 ページ

[SHUFFLE] つまみ

シャッフル (跳ね) 具合を調節します。

[MUTE] ボタン

選んだインストをミュート (消音) します。

インスト・パッド

インストの音が鳴ります。

パターンに合わせて演奏することができます。インスト・パッドを叩く強さに応じて音量が変化します (ペロシティーに対応)。

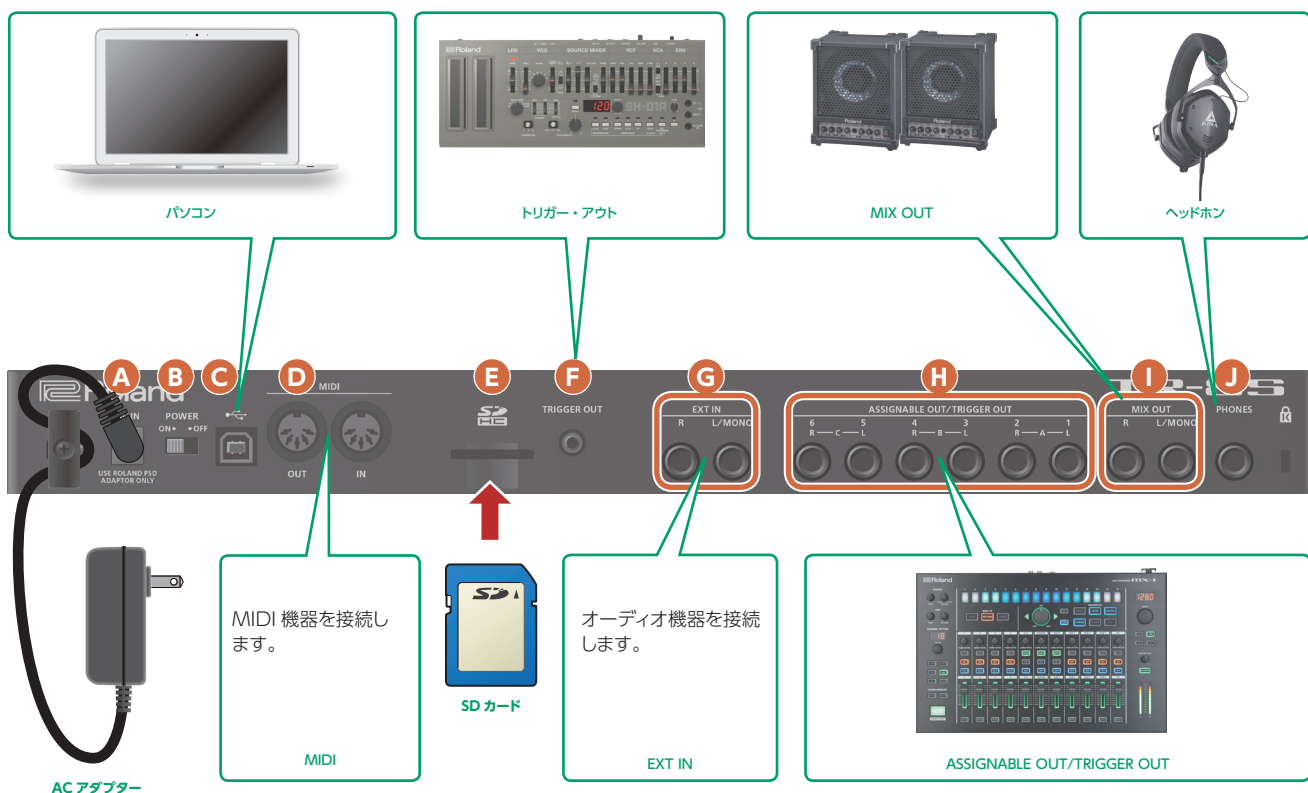
10 パッド [1] ～ [16]

モード	説明
TR-REC	ステップごとに、インスタ・トーンを鳴らすか鳴らさないかを設定します。
PTN SELECT	パターンを選びます。 [PTN SELECT] ボタンを押しながらパッド [1] ～ [8] でバンクを選べます。 [PTN SELECT] ボタンを離して、パッド [1] ～ [16] でナンバーを選べます。

モード	説明
INST PLAY	• [1] ～ [11] (INST) でインスタ・トーンを演奏します。 • [12] [13] (ROLL) をいずれか (もしくは両方) を押しながら [1] ～ [11] ボタンを押すと、インスタ・トーンがロール奏法になります。ROLL は 3 種類あります (16 分音符、32 分音符、64 分音符)。
INST REC	リアルタイム・レコーディングで、インスタ・トーンを録音します。

リア・パネル (機器の接続)

※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。



A DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックに固定してください。誤ってコードを引っ張ってしまっても、プラグが抜けて電源が切れてしまうことや、端子に無理な力がかかることを防ぐことができます。

B [POWER] スイッチ

電源をオン/オフします。

➔ 「はじめに」 (P.7)

C USB 端子

市販の USB2.0 ケーブル (B タイプ) でパソコンに接続します。USB MIDI と USB オーディオの情報をやりとりすることができます。パソコンに接続するには USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは、ローランドのホームページからダウンロードしてください。詳しくは、ダウンロードしたファイルにある Readme.htm をご覧ください。

➔ <https://www.roland.com/jp/support/>

D MIDI (OUT、IN) 端子

市販の MIDI ケーブルで MIDI 機器を接続します。

E SD カード・スロット

市販の SD カードを接続します。

※ 画面に **[Executing]** と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、メモリー・カードを抜いたりしないでください。

※ メモリー・カードの書き込み禁止 (LOCK) 機能 **書き込み禁止スイッチ** について
 メモリー・カードの側面にある書き込み禁止スイッチを **[LOCK]** 方向にスライドさせると、書き込み禁止になってメモリー・カード内のデータを保護します。データの編集をするときは、書き込み禁止を解除してください。

※ メモリー・カードは消耗品です。メモリー・カードは恒久的な保存場所ではなく、一時的な保存場所としてお使いいただき、大切なデータは、別のメディアにバックアップされることをおすすめします。



F TRIGGER OUT 端子

トリガー・アウト専用トラック（**[CC]** + **[RC]** ボタン）にセットしたトリガーのタイミングでトリガー・パルスが出力されます。

G EXT IN (L/MONO、R) 端子

オーディオ入力端子です。

指定したトラックのパターンでサイド・チェイン効果を加えることができます。

→ 詳しくは、**「リファレンス・マニュアル」** (PDF) をご覧ください。

H ASSIGNABLE OUT/TRIGGER OUT 端子

1～6それぞれで ASSIGNABLE OUT または TRIGGER OUT どちらで機能させるか選ぶことができます。

ASSIGNABLE OUT で機能している端子へ出力させたインストは、MIX OUT 端子からは出力されません。

TRIGGER OUT で機能している端子へ出力させたインストは、MIX OUT 端子からも出力されます。

I MIX OUT (L/MONO、R) 端子

アンプやモニター・スピーカーに接続します。

J PHONES 端子

ヘッドホンに接続します。

はじめに

※ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる

1. TR-8S → 接続した機器の順番で、電源を入れます。
2. 接続している機器の電源を入れて、音量を適当な位置まで上げます。

電源を切る

1. 接続した機器 → TR-8S の順番で、電源を切ります。

SD カードをフォーマットする

(SD CARD FORMAT)

SD カードをお使いになるときは、TR-8S でフォーマットしてください。SD カードは別売です。別途 SD カードをご用意ください。

1. **[UTILITY]** ボタンを押します。

UTILITY 画面が表示されます。

2. **[VALUE]** つまみで **「SD CARD:Format」** を選びます。

```
SD CARD:
▶Format >
```

3. **[ENTER]** ボタンを押します。

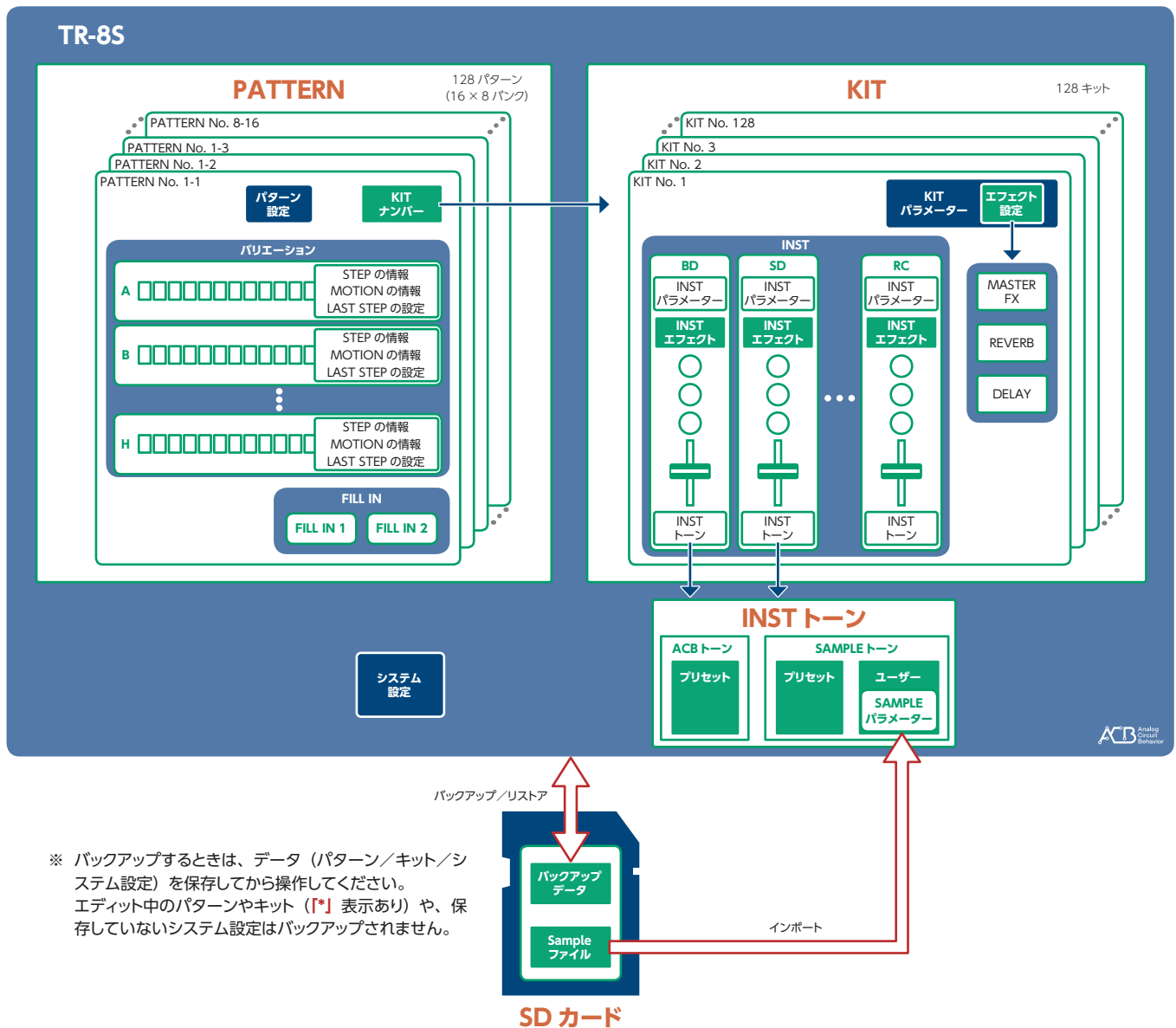
確認画面が表示されます。

```
Format SD Card?
[Cancel] [OK]
```

4. 実行するときは、**[VALUE]** つまみで **「OK」** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

キャンセルするときは、**[VALUE]** つまみで **「Cancel」** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

TR-8S の概要



パターンとは？

TR-REC や INST-REC で記録した演奏情報を「**パターン**」と呼びます。

TR-8S には 128 個のパターン (16 パターン × 8 バンプ) と、それぞれのパターンに 8 つのバリエーション (A ~ H) と 2 つのフィル・イン・パターンがあります。

パターン 1-1 ~ 8-16



キットとは？

11 種類のインストをまとめたものを、「**キット**」と呼びます。TR-8S には 128 個のキットがあります。

パターンは、現在選ばれているキットのインストを鳴らします。

パターン 1-1 ~ 8-16



パターンがキットのインストを鳴らす

キット 1 ~ 128



パターンやキットの保存について

エディット中のパターンやキットのパラメーターは、電源を切るまで記憶しています。別のパターンやキットを選んでから選び直してもエディット中の状態で復帰しますが、電源を入れなおすとエディット前の状態に戻ります。**パターンやキットのエディット内容を残したいときは、そのパターンやキットを保存してください。**

パターンとキットの同時保存 (OVERWRITE)

[SHIFT] ボタンを押しながら **[WRITE]** ボタンを押すことで、選んでいるパターンとキットを上書き保存することができます。

その他、各種設定の保存方法については、「**パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)**」(P.18) をご覧ください。

パターンを再生する

パターンを再生する

1. **[START/STOP]** ボタンを押します。
2. **INST エディット・セクションの操作子を使って、音を変化させます。**

メモ

[SHIFT] ボタンを押しながら **[START/STOP]** ボタンを押すと、パターンの先頭に戻ります。

パターンを選ぶ

1. **[PTN SELECT]** ボタンを押しながら、パッド **[1] ~ [8]** を押します。
バンクが選ばれます。
2. **[PTN SELECT]** ボタンを離します。
3. パッド **[1] ~ [16]** でパターンを選びます。
選んだパッドが点滅します。再生中は点灯します。
再生中に次のパターンを選ぶとパッドが点滅します。先頭ステップに戻るとパターンが切り替わります。
2つのパッドを同時に押すと範囲を選ぶことができます。選ばれたパターンは順次再生されます。
4. **[A] ~ [H]** ボタンで、バリエーションを選びます。
ボタンを押しながら他のボタンを押すことで、複数選ぶことができます。
選んだバリエーションは点灯し、点灯しているボタンの A → H の順に 1 回ずつ再生します。

バリエーションの長さを変更する

(バリエーションの LAST STEP の設定)

バリエーションで使用する全体のステップ数 (バリエーションの LAST STEP) をバリエーションごとに設定します。

1. **[LAST]** ボタンを押します。
2. **[A] ~ [H]** ボタンで、設定したいバリエーションを選びます。
※ ボタンを押しながら他のボタンを押すことで、複数選ぶことができます。
3. 最後のステップをパッド **[1] ~ [16]** で選びます。

特定のトラックの長さを変更する

(トラックの LAST STEP の設定)

1. **[LAST]** ボタンを押します。
2. **INST セレクト・ボタン [BD] ~ [RC]** で、変更したいトラックを選びます。
※ ボタンを押しながら他のボタンを押すことで、複数選ぶことができます。
3. 最後のステップをパッド **[1] ~ [16]** で選びます。

トラックの LAST STEP の設定を解除する

1. **[LAST]** ボタンを押します。
[LAST] ボタンが点灯します。
2. 設定を解除したいトラックの **INST セレクト・ボタン [BD] ~ [RC]** ボタンを押します。
選んだ INST セレクト・ボタンが点滅します。
設定されている LAST STEP がパッド **[1] ~ [16]** に表示されます。
3. **[CLEAR]** ボタンを押します。
選んだトラックの LAST STEP がクリアされ、パッド **[1] ~ [16]** が消灯し、各バリエーションに設定されている全体のステップ数になります。

バリエーションについて

1つのパターンに8つのバリエーション A ~ H があります。

[A] ~ [H] ボタンを押すと、再生や録音するバリエーション A ~ H を選ぶことができます。
複数のバリエーションを再生させたいときには、**[A] ~ [H]** ボタンのいずれか1つを押しながら、他に再生させたい **[A] ~ [H]** ボタンを押します。

バリエーション **[A] ~ [H]** ボタンの点灯/消灯ルール

緑点灯	PLAY 対象
緑点滅	PLAY 中
赤点滅	PLAY&REC 中 (TR-REC/INST REC)
赤短点滅	PLAY 対象かつ REC 対象として選択中 (TR-REC のみ)
オレンジ短点滅	PLAY 対象外を REC 対象として選択中 (TR-REC のみ)

TR-REC 中のバリエーション選択について

[TR-REC] を点灯させた状態で **[A] ~ [H]** ボタンを押すと、**[A] ~ [H]** ボタンが赤点滅または赤短点滅し、TR-REC するバリエーション A ~ H を1つ選ぶことができます。

また TR-REC 中、**[TR-REC]** ボタンを押しながら **[A] ~ [H]** ボタンを押すことで、再生対象のバリエーションを維持したまま、録音対象を選ぶことができます (再生対象外のバリエーションも選ぶことができます)。

フィル・インについて

1つのパターンには、2つのフィル・イン専用のバリエーションがあります。また、フィル・インとしてスカッター機能を使うこともできます。

→ **「フィル・インのバリエーションを選ぶ」** (P.10)

スカッターについて

「スカッター」 は、ループ再生をステップごとに入れ替え、さらに再生方向やゲート長を変化させることで、ループ再生にデジタル的なグルーブを加えます。

※ スカッターの効果は、1周目のループにはかかりません。2周目のループから効果がかかります。

ランダム・パターンを生成する

ランダム・パターンを自動生成します。選んでいるパターンが変更されます。

1. **[PTN SELECT]** ボタンを押しながら、**[SAMPLE]** ボタンを押します。
バリエーションにランダム・パターンが仮生成されます。
[TR-REC] ボタンが点滅します。
2. **[TR-REC]** ボタンを押すと、仮生成されたランダム・パターンが現在のパターンに変更されます。
この状態ではパターンに保存されていません。保存したいときは WRITE 操作をしてください。
→ **「パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)」** (P.18)

パターンをコピーする

1. **[COPY]** ボタンを押します。
COPY 画面が表示されます。

2. **[VALUE]** つまみで **[Pattern]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. **[VALUE]** つまみでコピー元を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

4. **[VALUE]** つまみでコピー先を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。
5. コピーするときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
キャンセルするときは、**[VALUE]** つまみで **[Cancel]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

パターンを削除する

1. **[PTN SELECT]** ボタンを押します。
2. **[CLEAR]** ボタンを押しながら、削除したいパターンをパッド **[1]** ～ **[16]** で選びます。

バリエーションをコピーする

1. **[COPY]** ボタンを押します。
COPY 画面が表示されます。

2. **[VALUE]** つまみで **[Variation]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
3. **[VALUE]** つまみと **[ENTER]** ボタンで、コピー元を選びます。

パターン・ナンバー



バリエーション

4. **[VALUE]** つまみと **[ENTER]** ボタンで、コピー先を選びます。
確認画面が表示されます。
5. コピーするときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
キャンセルするときは、**[VALUE]** つまみで **[Cancel]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

フィル・インのバリエーションを選ぶ

1. **AUTO FILL IN [ON]** ボタンを押しながら、パッド **[14]** ～ **[16]** または **[A]** ～ **[H]** ボタンを押します。
バリエーション A ～ H も FILL IN として利用できます。
パッド **[14]** ～ **[16]** と **[A]** ～ **[H]** ボタンが点滅します (選んだボタンは点灯します)。

メモ

FILL IN Type = SCATTER のとき、**AUTO FILL IN [MANUAL TRIG]** ボタンを押しながら **[VALUE]** つまみを使って、SCATTER DEPTH をコントロールできます。

フィル・インを入れる (マニュアル・トリガー)

1. フィル・インを入りたいタイミングで、**AUTO FILL IN [MANUAL TRIG]** ボタンを押します。

一定間隔でフィル・インを入れる (オート・フィル・イン)

設定した小節ごとに自動でフィル・インが入ります。

1. **AUTO FILL IN [AUTO FILL IN]** つまみを回します。
設定値: 32、16、12、8、4、2
2. **AUTO FILL IN [ON]** ボタンを押します。
指定した小節ごとに自動的にフィル・インが入ります。

リバーブやディレイを調節する

リバーブやディレイを調節するときは、以下の操作します。

対象	操作子
リバーブの音量	REVERB [LEVEL] つまみ
リバーブの長さ	[KIT] ボタン+ REVERB [LEVEL] つまみ
ディレイの音量	DELAY [LEVEL] つまみ
ディレイ・タイム	DELAY [TIME] つまみ
ディレイ・フィードバック	DELAY [FEEDBACK] つまみ

リバーブやディレイの詳細設定については、「**キットの設定を変更する (KIT Edit)**」 (P.14) をご覧ください。

マスター・エフェクト

1. **MASTER FX [ON]** ボタンを押して、点灯させます。
2. **MASTER FX [CTRL]** つまみでエフェクトのかかり具合を調節します。
→ **「マスター・エフェクト (MASTER FX)」** (P.15)

TR-REC (ステップ・レコーディング)

トラックごとに、音を鳴らすステップを指定して、パターンを作成します。パターンを再生しながらでも作成できます。

※ パターンやキットのエディット内容を残したいときは、そのパターンやキットを保存してください (P.18)。

1. **[TR-REC]** ボタンを押します。
2. **バリエーション・ボタン**で、A ~ H を選びます。
3. **[START/STOP]** ボタンを押して、録音を開始します。
4. 記録させるトラックを、INST セレクト・ボタンで、選びます。
5. パッド **[1]** ~ **[16]** を押して、音を鳴らしたいステップを入力します。
6. 手順 4 ~ 5 を繰り返します。

メモ

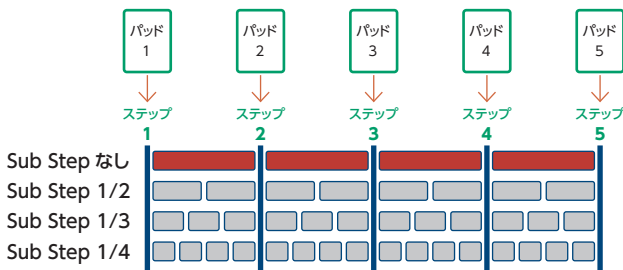
スケールを変更することができます。詳しくは「**パターンの設定をする (パターン・セッティング)**」(P.13)をご覧ください。

サブ・ステップを入力する (SUB STEP)

ステップを分割して連打するサブ・ステップを入力することができます。

1. **[SUB]** ボタンを押します。
2. サブ・ステップを設定するパッド **[1]** ~ **[16]** を押します。
[SUB] ボタンを押しながら **[VALUE]** つまみを回すと、分割数を 1/2、1/3、1/4 の中から選ぶことができます。

サブ・ステップ



メモ

[SUB] ボタンを押しながらパッド **[1]** ~ **[16]** を押して、サブ・ステップを入力することもできます。

フラムを入力する

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[SUB]** ボタンを押して、SUB STEP を FLAM に設定します。
ボタンを押すたびに SUB STEP と FLAM が入れ替わります。
2. パッド **[1]** ~ **[16]** を押します。

弱音を入力する (WEAK BEATS)

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながらパッド **[1]** ~ **[16]** を押します。

オルタネート音色を入力する (ALT INST)

707Bass1/2 のような **[I]** が入っている音色では、オルタネート音色を入力することができます。

1. INST セレクト・ボタン **[BD]** ~ **[RC]** ボタンを押しながらパッド **[1]** ~ **[16]** を押します。

オルタネート音色

パッドには 1 つの音色が割り当てられていますが、707Bass1/2 のような **[I]** が入っている音色 (インスト・トーン) には 2 つ目の音色 (オルタネート音色) も割り当てられています。通常の音色とオルタネート音色は切り替えて演奏します。

アクセントを指定する

1. **ACCENT [STEP]** ボタンを押します。
2. パッド **[1]** ~ **[16]** を押して、アクセントを付けるステップを選びます。
3. **ACCENT [LEVEL]** つまみで、アクセントの音量を調節します。

記録したステップをトラックから消去する

一部分だけ消去

再生中に **[CLEAR]** ボタンを押すと、押している間だけ、INST セレクト・ボタンで選んでいるトラックのステップが、パターンから消去されます。

すべてを消去

消去したいトラックの INST セレクト・ボタンを押しながら、**[CLEAR]** ボタンを押します。

MOTION の録音／再生

MOTION **[REC]** ボタンが点灯中はインストの **[TUNE]** つまみ、**[DECAY]** つまみ、**[CTRL]** つまみの動きがステップに記憶されます。

MOTION **[ON]** ボタンが点灯中は、記憶されたインストの **[TUNE]**、**[DECAY]**、**[CTRL]** つまみの動きが再生されます。

※ REVERB LEVEL、DELAY LEVEL/TIME/FEEDBACK、MASTER FX CTRL、MASTER FX ON も、上記ボタンの状態に従って記憶／再生されます。

別の操作方法

1. パターン再生中に、MOTION **[REC]** ボタンを押しながら、つまみを操作します。
押している間だけ記憶させることもできます。

ステップを指定して値を入力

[TR-REC] ボタンが点灯中は、ステップを指定してつまみの値を入力できます。

1. パッド **[1]** ~ **[16]** を押しながら、つまみを操作します。

INST-REC (リアルタイム・レコーディング)

パッド [1] (BD) ~ [11] (RC) の演奏をリアルタイムに録音して、パターンを作成します。選んでいるパターンが変更されます。

※ パターンやキットのエディット内容を残したいときは、そのパターンやキットを保存してください (P.18)。

1. [INST REC] ボタンを押します。
2. [START/STOP] ボタンを押して、録音を開始します。
3. バリエーション・ボタン [A] ~ [H] で、録音したいバリエーションを選びます。
4. パッド [1] (BD) ~ [11] (RC) を演奏します。

※ INST エディット・セクションの操作は記録されません。

サブ・ステップを演奏する

サブ・ステップを演奏／録音します。

1. [SUB] ボタンを押します。
2. サブ・ステップを演奏するパッド [1] ~ [16] を押します。

メモ

[SUB] ボタンを押しながら [VALUE] つまみを回すと、分割数を 1/2、1/3、1/4 の中から選ぶことができます。

[SUB] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [16] を押して、サブ・ステップを演奏することもできます。

フラムで演奏する

インスト・トーンをフラムを演奏／録音します。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [SUB] ボタンを押して、SUB STEP を FLAM に設定します。
ボタンを押すたびに SUB STEP と FLAM が入れ替わります。
2. パッド [1] (BD) ~ [11] (RC) を押します。
インスト・トーンをフラムを演奏／録音できます。

弱音で演奏する (WEAK BEATS)

1. [SHIFT] ボタンを押しながらパッド [1] (BD) ~ [11] (RC) を押します。
弱音で演奏／録音できます。

オルタネート音色を演奏する (ALT INST)

707Bass 1/2 のような [I] が入っている音色では、オルタネート音色を演奏／録音することができます。

1. INST セレクト・ボタン [BD] ~ [RC] ボタンを押しながらパッド [1] (BD) ~ [11] (RC) を押します。

録音したステップをトラックから消去する

一部分だけ消去

再生中に [CLEAR] ボタンを押すと、押している間だけ、INST セレクト・ボタンで選んでいるトラックのステップが、パターンから消去されます。

すべてを消去

消去したいトラックの INST セレクト・ボタンを押しながら、[CLEAR] ボタンを押します。

MOTION の録音／再生

MOTION [REC] ボタンが点灯中はインストの [TUNE] つまみ、[DECAY] つまみ、[CTRL] つまみの動きがステップに記憶されます。

MOTION [ON] ボタンが点灯中は、記憶されたインストの [TUNE]、[DECAY]、[CTRL] つまみの動きが再生されます。

※ REVERB LEVEL、DELAY LEVEL/TIME/FEEDBACK、MASTER FX CTRL、MASTER FX ON も、上記ボタンの状態に従って記憶／再生されます。

別の操作方法

1. MOTION [REC] ボタンを押しながら、つまみを操作します。
押している間だけ記憶させることもできます。

インスト・パッドを使う

INST セレクト・ボタンで、選んだインストを演奏／録音することができます。

インスト・パッドを叩く強さによって音量が変化します。

インスト・パッドでインストを演奏する

INST PLAY 中 / PATTERN SELECT 中

1. INST セレクト・ボタンで、インスト・パッドで演奏したいインストを選びます。
2. インスト・パッドを押して、手順 1 で選んだインストを演奏します。

インスト・パッドを使ってインストの演奏を録音する

TR-REC 中 / INST REC 中

1. [TR-REC] ボタン、または [INST REC] ボタンを押します。
2. [START/STOP] ボタンを押して、録音を開始します。
3. INST セレクト・ボタンで、インスト・パッドで録音したいインストを選びます。
4. インスト・パッドを押して、手順 3 で選んだインストを録音します。

INST-PLAY (演奏する)

パッド [1] (BD) ~ [11] (RC) をリアルタイムに演奏できます。

演奏によってパターンは変更されません。

1. **[INST PLAY]** ボタンを押します。
2. パッド [1] (BD) ~ [11] (RC) を演奏します。

サブ・ステップを演奏する

サブ・ステップを演奏します。

1. **[SUB]** ボタンを押します。
2. サブ・ステップを演奏するパッド [1] ~ [16] を押します。

メモ

[SUB] ボタンを押しながら **[VALUE]** つまみを回すと、分割数を 1/2、1/3、1/4 の中から選ぶことができます。

[SUB] ボタンを押しながらパッド [1] ~ [16] を押して、サブ・ステップを演奏することもできます。

フラムで演奏する

インスト・トーンをフラムで演奏します。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[SUB]** ボタンを押して、SUB STEP を FLAM に設定します。
2. パッド [1] (BD) ~ [11] (RC) を押します。
インスト・トーンをフラムで演奏できます。

弱音で演奏する (WEAK BEATS)

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら、パッド [1] (BD) ~ [11] (RC) を押します。
弱音で演奏できます。

オルタネート音色を演奏する (ALT INST)

707Bass1/2 のような **[I]** が入っている音色では、オルタネート音色を演奏することができます。

1. INST セレクト・ボタン **[BD]** ~ **[RC]** ボタンを押しながら、パッド [1] (BD) ~ [11] (RC) を押します。

ロールを演奏する (ROLL)

インスト・トーンのロールを演奏します。

1. パッド [12] ~ [13] を押しながらパッド [1] ~ [11] を押します。
インスト・トーンのロール演奏ができます。

別の方法

1. **[INST PLAY]** ボタンを押しながらパッド [12] ~ [13] を押します。
パッド [12] ~ [13] が点灯します。
2. パッド [1] ~ [11] を押します。
インスト・トーンのロール演奏ができます。
3. ロール演奏をやめるときは、もう一度パッド [12] ~ [13] を押します。

ロールの速さ

パッド	説明
パッド [12]	16 分音符
パッド [13]	32 分音符
パッド [12] + [13]	64 分音符

パターンの設定をする (パターン・セッティング)

パターンで使用するキットやテンポなどを設定します。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[PTN SELECT]** ボタンを押します。
PTN SETTING 画面が表示されます。

PTN SETTING: KIT
Sw ON

2. パラメーターを選びます。
 - 2-1. **[VALUE]** つまみでパラメーターを選びます。
 - 2-2. **[ENTER]** ボタンを押します。
3. 値を変更します。
 - 3-1. **[VALUE]** つまみでパラメーター値を変更します。
 - 3-2. **[ENTER]** ボタンを押します。
パラメーター選択 (手順 2) に戻ります。
4. **[PTN SELECT]** ボタンを押します。
PTN SETTING 画面を抜けます。

PTN SETTING パラメーター

パラメーター	説明
KIT : SW	[KIT : Number] パラメーターで選んだキットを使うときは ON にします。
KIT : Number	パターンで使用するキットを選びます。
Tempo	パターンのテンポを設定します。
Scale	スケールを選びます。
Shuffle	シャッフル (跳ね) 具合を設定します。
Flam Spacing	フラムの間隔を設定します。
ScatterType	スカッターのタイプを選びます。
ScatterDepth	スカッターの深さを調節します。
NAME	パターン名を設定します。

➡ 詳しくは、「リファレンス・マニュアル」(PDF) をご覧ください。

キットやインストをエディットする

キットを選ぶ (KIT)

キットを選びます。

1. [KIT] ボタンを押して、点灯させます。

KIT 画面が表示されます。



エディット中のキットは、キット・ナンバーの左側に「*」が付きます。

2. [VALUE] つまみで、キットを選びます。

3. もう一度 [KIT] ボタンを押します。

KIT 画面を抜けます。

キットの設定を変更する (KIT Edit)

選択中のキットの設定を変更します。

※ キットの設定を残したいときはキットを保存してください (P.18)。

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [KIT] ボタンを押します。

KIT Edit 画面が表示されます。



2. パラメーターを選びます。

2-1. [VALUE] つまみで、パラメーターを選びます。

2-2. [ENTER] ボタンを押します。

パラメーター値の変更 (手順 3) へ移ります。

3. 値を変更します。

3-1. [VALUE] つまみで、パラメーター値を変更します。

3-2. [ENTER] ボタンを押します。

パラメーター選択 (手順 2) に戻ります。

4. [KIT] ボタンを押します。

KIT Edit 画面を抜けます。

KIT Edit パラメーター

カテゴリー	説明
LEVEL	Level パラメーター
REVERB	リバーブの設定をします。 → 「リバーブの詳細設定」 (P.14)
DELAY	ディレイの設定をします。 → 「ディレイの詳細設定」 (P.14)
MASTER FX	→ 「マスター・エフェクト (MASTER FX)」 (P.15)
EXT IN	→ 「外部からオーディオを入力する (EXT IN)」 (P.21)
LFO	→ 「LFO でパラメーターを変化させる」 (P.16)
OUTPUT	各インストの出力先を設定します。 MIX, ASSIGN 1 ~ 6 (モノ), ASSIGN A ~ C (ステレオ)
MUTE	各インストのミュート設定をします。 指定したインストの発音時にミュートするようになります。
CTRL	INST エディット・セクションの [CTRL] つまみにパラメーターを割り当てます。 → 「[CTRL] つまみにインストごとに別の機能を割り当てる」 (P.15)
COLOR	レベル・フェーダーの LED 点灯色を設定します。
NAME	キット名を変更します。 → 「キット名などの文字の入力方法」 (P.18)

→ 詳しくは、「リファレンス・マニュアル」(PDF)をご覧ください。

メモ

- キット変更後の「つまみ位置とキットの値との差異」については、つまみ操作で即音が変わるか、キットの値と一致、または越えてから変わるかを選べます。
→ [UTILITY] → [GENERAL] → [KnobMode] パラメーター
- エディット中のキットのパラメーターは、電源を切るまで記憶しています。別のキットを選んでから選び直してもエディット中の状態で復帰しますが、電源を入れ直すとエディット前の状態に戻ります。キットの設定を残したいときはキットを保存してください。
→ 「パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)」 (P.18)

リバーブの詳細設定

KIT Edit 画面で REVERB を選びます。

パラメーター	説明
Type	リバーブの種類
Time	リバーブ音の余韻の長さ ※ [KIT] ボタンを押しながら、REVERB [LEVEL] つまみを回すことでコントロールできます。
Level	リバーブ音の音量 ※ REVERB [LEVEL] つまみでコントロールできます。
Pre Delay	原音が鳴ってからリバーブ音が鳴るまでの遅延時間
Low Cut	最終出力音の低域成分をカットする基準周波数
High Cut	最終出力音の高域成分をカットする基準周波数
Density	リバーブ音の密度

ディレイの詳細設定

KIT Edit 画面で DELAY を選びます。

パラメーター	説明
Type	ディレイの種類
TempoSync	ディレイ・タイム (Time) を、テンポに同期させます。
Level	ディレイ音の音量 ※ DELAY [LEVEL] つまみでコントロールできます。
Time	原音が鳴ってからディレイ音が鳴るまでの遅延時間 ※ DELAY [TIME] つまみでコントロールできます。
Feedback	ディレイ音を入力に戻す量 ※ DELAY [FEEDBACK] つまみでコントロールできます。

ディレイの種類ごとに、設定できるパラメーターが異なります。

→ 詳しくは、「リファレンス・マニュアル」(PDF)をご覧ください。

マスター・エフェクト (MASTER FX)

キットにマスター・エフェクトをかけます。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **MASTER FX [ON]** ボタンを押します。

KIT EDIT 画面の Master FX 項目が表示されます。

```
KIT:MASTER FX
Type HPF
```

2. マスター・エフェクト・タイプを選びます。

エフェクトごとに、設定できるパラメーターが異なります。

→ 詳しくは、「**リファレンス・マニュアル**」(PDF)をご覧ください。

メモ

MASTER FX **[CTRL]** つまみで、アサインしたパラメーターを変化させることができます。

3. **[KIT]** ボタンを押します。

画面を抜けます。

[CTRL] つまみにパラメーターを割り当てる (CTRL SELECT)

INST エディット・セクションの **[CTRL]** つまみにパラメーターを割り当てて、パターンを再生しながらコントロールすることができます。

1. **[CTRL SELECT]** ボタンを押して、点灯させます。

CTRL SELECT 画面が表示されます。

```
CTRL SELECT:
User
```

2. **[VALUE]** つまみで、パラメーターを選びます。

すべての **[CTRL]** つまみに同じパラメーターが選ばれます。

3. もう一度 **[CTRL SELECT]** ボタンを押します。

[CTRL SELECT] ボタンが消灯して、CTRL SELECT 画面を抜けます。

[CTRL] つまみにインストごとに別の機能を割り当てる

1. **[CTRL SELECT]** ボタンを押しながら、**[BD]** ~ **[RC]** ボタンを押します。

[CTRL] つまみに割り当てられたパラメーターが表示されます。

```
KIT CTRL:BD
Attack
```

2. **[VALUE]** つまみで、パラメーターを選びます。

3. **[CTRL SELECT]** ボタンを押します。

[CTRL SELECT] ボタンが消灯して、画面を抜けます。

メモ

- **[CTRL SELECT]** ボタンを押しながら、直接 **[CTRL]** つまみを動かしても、割り当て可能なパラメーターを選ぶことができます。
- 設定した結果は、「**[CTRL] つまみにパラメーターを割り当てる (CTRL SELECT)**」(P.15) の手順 2 で選択できるパラメーター **[User]** に保存されます。

複数のインストを重ねて鳴らす

(GROUPING for Layer)

複数のインストをグループ化して、1 つのノートで音を重ねて鳴らすことができます。

グループ化したマスター・インストは次のことができます。スレーブ・インストは、マスター・インストに従います。

- **[TR-REC]** でのパターン入力
- **[INST PLAY]** でのパッド演奏
- **[INST REC]** でのパッド録音

インストをグループ化する

1. KIT Edit 画面で、マスター・インストにする **[BD]** ~ **[RC]** ボタンを長押しします。

INST GROUP 画面が表示されます。

```
INST GROUP: BD
M-----L-----
```

2. 手順 1 のボタンを押しながら、スレーブ・インストにする **[BD]** ~ **[RC]** ボタンを押します。

マスター・インストとスレーブ・インストに選んだインストがグループ化されます。

メモ

- TR-REC 中は、グループ化されている **[BD]** ~ **[RC]** ボタンを押すと、マスター・インスト (M) の **[BD]** ~ **[RC]** ボタンが点灯し、スレーブ・インスト (L) の **[BD]** ~ **[RC]** ボタンが点滅します。
- INST PLAY / INST REC 中は、グループ化されているスレーブ・インストのパッド **[1]** ~ **[11]** を押しても音は鳴りません。
- **[MUTE]** ボタンを押すと、同じグループのマスター・インストの **[BD]** ~ **[RC]** ボタンが点灯し、スレーブ・インストの **[BD]** ~ **[RC]** ボタンが点滅します。

インスト・トーンを選ぶ (INST)

選択中のキットのインスト・トーンを個別に選びます。

1. **[INST]** ボタンを押します。

[INST] ボタンと (**[TR-REC]** で選ばれていた) **[BD]** ~ **[RC]** ボタンが点灯して、INST 画面が表示されます。

```
INST: 0 BD
909Bass1
```

2. **[VALUE]** つまみで、インスト・トーンを選びます。

メモ

[SHIFT] ボタンを押しながら **[VALUE]** つまみを回すと、カテゴリーを切り替えられます。

3. もう一度 **[INST]** ボタンを押します。

INST 画面を抜けます。

インストの音色を変更する (INST Edit)

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら、**[INST]** ボタンを押します。

INST Edit 画面が表示されます。

```
INST:BD
Tune 0
```

2. パラメーターを選びます。

2-1. **[VALUE]** つまみで、パラメーターを選びます。

2-2. **[ENTER]** ボタンを押します。

3. 値を変更します。

3-1. **[VALUE]** つまみで、パラメーター値を変更します。

3-2. **[ENTER]** ボタンを押します。

パラメーター選択 (手順 2) に戻ります。

4. **[INST]** ボタンを押します。

INST Edit 画面を抜けます。

→ 詳しくは、**「リファレンス・マニュアル」** (PDF) をご覧ください。

インストのパンを変更する (Pan)

1. INST Edit 画面で、**[VALUE]** つまみで **[Pan]** パラメーターを選びます。

```
INST:BD
Pan CENTER
```

2. **[ENTER]** ボタンを押します。

3. **[VALUE]** つまみでパラメーター値を変更します。

設定値: L127 ~ CENTER ~ R127

4. **[ENTER]** ボタンを押します。

5. 点灯している **[INST]** ボタンを押します。

INST Edit 画面を抜けます。

インストのゲインを調整する (Gain)

1. INST Edit 画面で、**[VALUE]** つまみで **[Gain]** パラメーターを選びます。

```
INST:BD
Gain 0.0dB
```

2. **[ENTER]** ボタンを押します。

3. **[VALUE]** つまみで、パラメーター値を変更します。

設定値: -INF、-40.0dB ~ 0.0dB ~ +40.0dB

4. **[ENTER]** ボタンを押します。

5. 点灯している **[INST]** ボタンを押します。

INST Edit 画面を抜けます。

キットをコピーする (KIT COPY)

1. **[COPY]** ボタンを押しながら **[KIT]** ボタンを押します。

KIT COPY 画面が表示されます。

```
KIT COPY: Src
001 001
```

2. **[VALUE]** つまみでコピー元を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

3. **[VALUE]** つまみでコピー先を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

4. コピーするときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

キャンセルするときは、**[VALUE]** つまみで **[Cancel]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

LFO でパラメーターを変化させる

変化させたいパラメーターを選び、LFO でパラメーター値を変化させます。

1. INST Edit 画面で、**[VALUE]** つまみで **[LFO]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

2. **[VALUE]** つまみで変化させたいパラメーターを選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

3. **[VALUE]** つまみで **[LFO Depth]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

4. **[VALUE]** つまみで、変化させる深さを設定します。

設定値: -128 ~ 0 ~ +127

5. **[ENTER]** ボタンを押します。

6. 点灯している **[INST]** ボタンを押します。

INST Edit 画面を抜けます。

メモ

KIT Edit 画面で LFO 波形 (Waveform)、周期 (Rate)、テンポ同期 (TempoSync) を変更することができます。

LFO

KIT パラメーター

LFO 波形
LFO Rate
LFO Tempo Sync

INST パラメーター

LFO
LFO Depth

インポートしたユーザー・サンプルをインストに割り当てる

ユーザー・サンプルをインポートする

(SAMPLE Import)

SD カードに保存したオーディオ・ファイルをユーザー・サンプルとしてインポートします。

- ※ SD カードは TR-8S でフォーマットしてください。
- ※ インポートできるオーディオ・ファイルひとつあたりの最大時間は、約 180 秒です (44.1kHz / MONO のとき)。また、メモリーの使用状況によって、最大時間が短くなることがあります。

1. パソコンなどを使って、SD カードの以下のフォルダーにオーディオ・ファイルをコピーしておきます。

ROLAND\TR-8S\SAMPLE\

インポート可能なファイル形式

WAV、AIFF

2. SD カードを TR-8S にセットします (P.6)。

3. [UTILITY] ボタンを押します。

4. [VALUE] つまみで [SAMPLE:Import] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

```
SAMPLE IMPORT:
UserSample.wav
```

5. [VALUE] つまみでインポートするオーディオ・ファイルを選び、[ENTER] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

```
Import?
[Cancel] [OK]
```

6. 実行するときは、[VALUE] つまみで [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで [Cancel] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

インポートが完了すると、ディスプレイに [Completed!] と表示され UTILITY 画面を抜けます。

ユーザー・サンプルを選ぶ (SAMPLE)

1. [SAMPLE] ボタンを押します。

[SAMPLE] ボタンと ([TR-REC] で選ばれていた) [BD] ~ [RC] ボタンが点灯して、SAMPLE 画面が表示されます。

```
SAMPLE:
---
```

2. [VALUE] つまみで、インスト・トーンに設定するユーザー・サンプルを選びます。

```
SAMPLE: 0 IMPORT
UserSample
```

メモ

- SD カードからインポートしたユーザー・サンプルの中から選びます。
- [BD] ~ [RC] ボタンを押すと、読み込み先を変更できます。

3. 点灯している [SAMPLE] ボタンを押します。

[SAMPLE] ボタンが消灯して、SAMPLE 画面を抜けます。

ユーザー・サンプルの設定を変更する

(SAMPLE Edit)

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [SAMPLE] ボタンを押します。

SAMPLE Edit 画面が表示されます。

```
@SAMPLE: BD 0
Start 0
```

2. パラメーターを選びます。

2-1. [VALUE] つまみで、パラメーターを選びます。

2-2. [ENTER] ボタンを押します。

3. 値を変更します。

3-1. [VALUE] つまみで、パラメーター値を変更します。

3-2. [ENTER] ボタンを押します。

パラメーター選択 (手順 2) に戻ります。

ご注意!

画面に [---] と表示されているときは、エディットできません。

4. 点灯している [SAMPLE] ボタンを押します。

[SAMPLE] ボタンが消灯して、SAMPLE Edit 画面を抜けます。設定を変更していたとき、サンプルを保存するか確認する画面が表示されます。

メモ

- ここで設定した内容は、同じユーザー・サンプルを使うすべてのキットで共通です。
- ACB トーンまたはプリセット・サンプル (P アイコンが表示されるサンプル) は、パラメーター値が [---] と表示され、値の変更はできません。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

各種操作

グループの先頭にあるパラメーターにジャンプする

各エディット画面で、パラメーターをグループ（カテゴリー）の先頭にジャンプすることができます。

1. パラメーター選択中に、**[SHIFT]** ボタンを押しながら **[VALUE]** つまみを回します。

キット名などの文字の入力方法

キット名やパターン名など、文字を入力します。

1. KIT EDIT 画面 (P.14)、PTN SETTING 画面 (P.13) を表示します。
2. **[VALUE]** つまみで **[NAME]** を選びます。

KIT Edit 画面の場合

```
ⓀKIT:NAME
▶Kit_001_____
```

3. **[ENTER]** ボタンを押して、文字入力画面に移ります。

KIT Edit 画面の場合

```
ⓀKIT NAME:
Kit_001_____
```

4. **[COPY]** (左) **[UTILITY]** (右) ボタンで、カーソルを移動します。



ボタン	説明
[UTILITY] ボタン	右に移動します。
[COPY] ボタン	左に移動します。

5. **[VALUE]** つまみで、文字を変更します。

ボタン	説明
[SHIFT] ボタン + [COPY] ボタン	1 文字消去します (Erase)。
[SHIFT] ボタン + [UTILITY] ボタン	1 文字挿入します (Insert)。
[SHIFT] ボタン + [VALUE] つまみ	大文字／小文字／数字を切り替えます。

6. 入力が終わったら、**[ENTER]** ボタンを押します。

手順 2 の画面に戻り入力した名前が表示されます。

パターン／キット／システム設定を保存する (WRITE)

パターンやキットを保存します。

1. **[WRITE]** ボタンを押します。

WRITE 画面が表示されます。

```
<WRITE>
▶Pattern
```

2. **[VALUE]** つまみで保存対象を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

WRITE 画面は、**[Pattern]** → **[Kit]** → **[System]** の順に表示されます。

※ **[System]** を選んだときは、確認画面が表示されます。手順 4 へ進んでください。

3. **[VALUE]** つまみで保存先を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

```
Pattern Write?
[Cancel] [OK]
```

4. 保存するときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

キャンセルするときは、**[VALUE]** つまみで **[Cancel]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

保存操作のショートカット

動作	操作方法
パターンの保存 (PATTERN WRITE 画面)	[WRITE] ボタンを押しながら [PTN SELECT] ボタンを押します。
キットの保存 (KIT WRITE 画面)	[WRITE] ボタンを押しながら [KIT] ボタンを押します。
パターンとキットの同時保存 (OVERWRITE)	[SHIFT] ボタンを押しながら [WRITE] ボタンを押します。 ※ 選んでいるパターンとキットが上書き保存されます。

パターンやキットをコピーする (COPY)

パターンやキットをコピーします。

1. [COPY] ボタンを押します。

COPY 画面が表示されます。

2. [VALUE] つまみでコピー対象を選び、[ENTER] ボタンを押します。

COPY 画面は、[Pattern] → [Variation] → [Track] → [Kit] → [Inst] の順に表示されます。

3. [VALUE] つまみでコピー元を選び、[ENTER] ボタンを押します。

4. [VALUE] つまみでコピー先を選び、[ENTER] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

5. コピーを実行するときは、[VALUE] つまみで [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで [Cancel] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

コピー操作のショートカット

動作	操作方法
パターンのコピー (PATTERN COPY 画面)	[COPY] ボタンを押しながら、[PTN SELECT] ボタンを押します。
キットのコピー (KIT COPY 画面)	[COPY] ボタンを押しながら、[KIT] ボタンを押します。
インストのコピー (INST COPY 画面)	[COPY] ボタンを押しながら、[INST] ボタンを押します。
トラックのコピー (選んだトラック) (トラックのコピー先の確認画面)	[COPY] ボタンを押しながら [BD] ~ [RC] ボタンを押します。
バリエーションのコピー (選んだバリエーション) (バリエーションのコピー先の選択画面)	[COPY] ボタンを押しながらバリエーション [A] ~ [H] ボタンを押します。

パターンを消去する (CLEAR)

パターンを消去します。

1. INST セレクト・ボタンを押しながら [CLEAR] ボタンを押します。

選ばれているインストのパターンを消去することができます。

選ばれているバリエーションのみが対象になります。

TR-REC や INST REC で再生中の場合

1. 再生中に [CLEAR] ボタンを押します。

押している間だけ INST セレクト・ボタンで、選んでいるインストのパターンが消去されます。

MOTION の消しかた

MOTION の全消去

再生で選ばれているバリエーションに記憶されている MOTION がすべて削除されます。

1. MOTION [ON] ボタンを押しながら [CLEAR] ボタンを押します。

任意のトラックの MOTION 消去

再生で選ばれているバリエーションで指定した、トラック内に記憶されている MOTION がすべて削除されます。

1. MOTION [ON] ボタンを押しながら INST セレクト・ボタンを押します。

任意のつまみのみ MOTION 消去

再生で選ばれているバリエーションに記憶されているつまみの MOTION がすべて削除されます。

1. MOTION [ON] ボタンを押しながらつまみを操作します。

メモ

[CLEAR] ボタンを押しながら STEP を消していくときは、MOTION も消えます。

弱音を演奏する (WEAK BEATS)

TR-REC 中の弱音 (WEAK BEATS) の入力方法を変更することができます。

[UTILITY] → [GENERAL] → [WeakBeat] で設定します。

パラメーター	説明
wSHIFT	[SHIFT] ボタンを押しながら、パッド [1] ~ [16] を押します。
PAD	パッド [1] ~ [16] を押すたびに、通常音 → 弱音 → オフが切り替わります。

フラムの間隔を設定する

LCD 画面を使って FLAM の間隔を設定できます。

→ 「パターンの設定をする (パターン・セッティング)」 (P.13)

※ [0] を指定するとフラム効果はなくなります。

トラックをミュートする (MUTE)

1. **[MUTE]** ボタンを押します。
2. INST セレクト・ボタンで、各インストのミュートをオン (消灯) / オフ (点灯) します。
[MUTE] ボタンは、**[TR-REC]**、**[PTN SELECT]**、**[INST REC]**、**[INST PLAY]** どの状態でも機能します。

別の方法

1. **[MUTE]** ボタンを押しながら、INST セレクト・ボタンを押します。

選んだインストだけを鳴らす (SOLO)

選んだインストだけが鳴る状態 (ソロ状態) にすることができます。

1. **[MUTE]** ボタン点灯中に、**[SHIFT]** ボタンを押しながら INST セレクト・ボタンを押します。

メモ

また **[MUTE]** ボタンを押しながら **[CLEAR]** ボタンを押すと、瞬時にすべてのミュートを解除することができます。

テンポを変更する

1. **[TEMPO]** つまみを回して変更します。
[SHIFT] ボタンを押しながら **[TEMPO]** ボタンを回すと、0.1 単位で調節できます。
テンポは、TEMPO ディスプレイに表示されます。

タップ・テンポ

テンポのタップ入力ができます。

1. **[SHIFT]** ボタンを押しながら **[ENTER]** ボタンを 3 回以上押します。
ボタンを押したタイミングの平均でテンポが設定されます。

テンポのマーキング

現在のテンポ値を一時的に記憶しておき、あとから呼び出すことができます。

メモ

マーキングしたテンポは保存されません。

記憶させる

現在のテンポ値をマーキングします。

1. **[MUTE]** ボタンを押しながら **[UTILITY]** ボタンを押します。

呼び出す

マーキングしてあるテンポ値に切り替えます。

1. **[MUTE]** ボタンを押しながら **[COPY]** ボタンを押します。

発音のタイミングを微調整する (ナッジ機能)

ノートの発音タイミングを前後にずらす機能を、「**ナッジ機能**」と呼びます。

ナッジ機能を使うと、パターン全体の再生タイミングが変わります。

操作	説明
[SHIFT] + [COPY] ボタン	再生タイミングが前に移動します。
[SHIFT] + [UTILITY] ボタン	再生タイミングが後ろに移動します。

メモ

MIDI クロックのタイミングを変える / 変えないをシステム設定で選ぶことができます。

➔ **[MIDI TX : Tx Nudge]**

他の機器との同期／録音をする

TR-8S は MIDI クロック (F8) を受信して、テンポ同期することができます。また、MIDI スタート (FA)、MIDI ストップ (FC) を受信して、スタート／ストップすることもできます。

TB-3 と同期する

市販の MIDI ケーブルで接続することで、TB-3 と同期させることができます。



MIDI コントローラーとして使う

TR-8S 内蔵の音源を使わずに PC ソフトのコントローラーとして使います。

1. [UTILITY] ボタンを押します。

設定画面が表示されます。

```
GENERAL:
▶LCD Contrast 5
```

2. [VALUE] つまみで [SOUND:Local Sw] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

```
SOUND:
LocalSw▶ ON
```

3. [VALUE] つまみで [SURFACE] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

```
SOUND:
LocalSw▶SURFACE
```

4. 点灯している [UTILITY] ボタンを押します。

[UTILITY] ボタンが消灯して、UTILITY 画面を抜けます。

※ パッドを押したり、MIDI を受信したりしても、TR-8S 内蔵の音源は鳴りません。

ASSIGNABLE OUT/TRIGGER OUT 端子をトリガー・アウトとして使う

あらかじめ、すべての機器の電源がオフの状態、トリガー・アウトとして使う端子をトリガー入力機器へ接続しておきます。

1. [UTILITY] ボタンを押します。

設定画面が表示されます。

2. [VALUE] つまみで ASSIGN OUT 1 ~ 6 の [Mode] パラメーターを選び、[ENTER] ボタンを押します。

```
ASSIGN OUT 1:
Mode▶ BOOST
```

3. [VALUE] つまみで [TRIGGER] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

```
ASSIGN OUT 1:
Mode▶ TRIGGER
```

4. [UTILITY] ボタンを押します。

[UTILITY] ボタンが消灯して、UTILITY 画面を抜けます。

インストを ASSIGNABLE OUT/TRIGGER OUT 端子へ割り当てる

1. [SHIFT] ボタンを押しながら [KIT] ボタンを押します。

設定画面が表示されます。

2. [VALUE] つまみで KIT:OUTPUT [BD] ~ [RC] パラメーターを選び、[ENTER] ボタンを押します。

```
KIT:OUTPUT
BD▶ MIX
```

3. [VALUE] つまみで割り当てたい端子を選び、[ENTER] ボタンを押します。

4. [KIT] ボタンを押します。

KIT Edit 画面を抜けます。

外部からオーディオを入力する (EXT IN)

マイク、シンセサイザー、リズム・マシンなどを EXT IN 端子に接続します。

EXT IN 端子に入力したオーディオに以下のことができます。

- 入力の選択 (ステレオ入力×1 / モノ入力×2)
- サイド・チェインをかけることができる
- リバースをかけることができる (Reverb Send)
- ディレイをかけることができる (Delay Send)
- 出力先の選択 (MIX OUT / ASSIGNABLE OUT)
- SCATTER をかけることができる (FILL IN で SCATTER を選び、MIX OUT 出力のとき)
- MASTER FX をかけることができる (MIX OUT 出力のとき)

USB でパソコンと接続する

市販の USB2.0 ケーブルでパソコンに接続することで、USB MIDI でパソコンの DAW に同期したり、USB オーディオで TR-8S の各インストを個別に、DAW のトラックに録音したりすることができます。

TR-8S をお使いになるためには、パソコンで以下の URL からドライバーをダウンロードしてインストールする必要があります。

インストールについて詳しくは、以下の URL をご覧ください。

➔ <https://www.roland.com/jp/support/>

ご注意！

ドライバーのインストールが完了する前に、TR-8S をパソコンに接続しないでください。

すでに接続しているときは、TR-8S をいったん取りはずしてください。ドライバーのインストールが完了してから、TR-8S を接続してください。

各種設定

工場出荷時の設定に戻す (FACTORY RESET)

TR-8S を工場出荷時の設定に戻します。

1. [UTILITY] ボタンを押します。

UTILITY 画面が表示されます。

2. [VALUE] つまみで [UTILITY : Factory Reset] を選びます。

```
UTILITY:
▶Factory Reset >
```

3. [ENTER] ボタンを押します。

ターゲット選択画面が表示されます。

```
FACTORY RESET:
Target      ALL
```

ターゲット	説明
ALL	パターン、キットを含むすべての設定を工場出荷時の状態に戻します。
KIT	キットの設定のみを工場出荷時の状態に戻します。
PTN	パターンのみを工場出荷時の状態に戻します。

4. [VALUE] つまみで対象を選び、[ENTER] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

```
Factory Reset?
[Cancel] [OK]
```

5. 実行するときは、[VALUE] つまみで [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで [Cancel] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

6. ディスプレイに [Completed. Turn off power.] と表示されたら、TR-8S の電源を入れ直します。

SD カードにデータをバックアップする

(BACKUP)

※ バックアップするときは、データ（パターン／キット／システム設定）を保存してから操作してください。エディット中のパターンやキット（[*]表示あり）や、保存していないシステム設定はバックアップされません。

1. [UTILITY] ボタンを押します。

UTILITY 画面が表示されます。

2. [VALUE] つまみで [UTILITY:Backup] を選びます。

```
UTILITY:
▶Backup >
```

3. [ENTER] ボタンを押します。

BACKUP:NAME 画面が表示されます。

```
BACKUP:NAME
tr8s_bak .bin
```

メモ

すでにバックアップ・ファイルがあるときは、BACKUP:SELECT 画面が表示されます。

```
BACKUP:SELECT
Save As
```

すでにあるバックアップ・ファイルを選び [ENTER] ボタンを押すと上書き保存されます。

Save As を選び [ENTER] ボタンを押すと、BACKUP:NAME 画面が表示されます。

4. 必要に応じて名前を変更します。

5. [ENTER] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。

```
Backup?
[Cancel] [OK]
```

6. 実行するときは、[VALUE] つまみで [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

キャンセルするときは、[VALUE] つまみで [Cancel] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD カードにバックアップしたデータを復元する (RESTORE)

1. **[UTILITY]** ボタンを押します。
UTILITY 画面が表示されます。
2. **[VALUE]** つまみで **[UTILITY:Restore]** を選びます。

```
UTILITY:
▶Restore >
```

3. **[ENTER]** ボタンを押します。
RESTORE 画面が表示されます。

```
RESTORE:
tr8s_bak.bin
```

4. **[VALUE]** つまみでリストアするファイルを選びます。
5. **[ENTER]** ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

```
Restore?
[Cancel] [OK]
```

6. 実行するときは、**[VALUE]** つまみで **[OK]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。
キャンセルするときは、**[VALUE]** つまみで **[Cancel]** を選び、**[ENTER]** ボタンを押します。

便利な機能 (UTILITY)

TR-8S 本体のシステム設定やバックアップ／リストアなどをします。

1. **[UTILITY]** ボタンを押します。
設定画面が表示されます。

```
GENERAL:
▶LCD Contrast 5
```

2. パラメーターを選びます。
 - 2-1. **[VALUE]** つまみでパラメーターを選びます。
 - 2-2. **[ENTER]** ボタンを押します。
3. 値を変更します。
 - 3-1. **[VALUE]** つまみで、パラメーター値を変更します。
 - 3-2. **[ENTER]** ボタンを押します。
パラメーター選択（手順 2）に戻ります。
4. 点灯している **[UTILITY]** ボタンを押します。
[UTILITY] ボタンが消灯して、UTILITY 画面を抜けます。

ユーティリティ

カテゴリー	説明
GENERAL	TR-8S 全体の設定をします。
RELOAD	選択しているパターンやキットを前回保存した状態にします。
SAMPLE	サンプルのインポートやデリートをします。
LED	ボタンやスライダの LED の明るさなどを調整します。
SYNC/TEMPO	同期に関する設定をします。
MIDI	MIDI に関する設定をします。
SOUND	ローカル・コントロールの設定をします。
MIX OUT	MIX OUT 端子の出力に関する設定をします。
ASSIGN OUT 1 ~ 6	ASSIGNABLE OUT/TRIGGER OUT 1 ~ 6 端子の出力に関する設定をします。
EXT IN	EXT IN 端子からの入力信号に関する設定をします。
UTILITY	バックアップやリストアなどをします。
SD CARD	SD カードをフォーマットします。
INFORMATION	システム・プログラムのバージョンを表示します。

➔ 詳しくは、**「リファレンス・マニュアル」** (PDF) をご覧ください。

エラー・メッセージ一覧

メッセージ	意味	対応
SDCard NotReady!	SD カードが差し込まれていません。または差し込みが不完全な状態で操作しています。	一度電源を切り、SD カードを確実に差し込んで、再度電源を投入してください。
	SD カードにあるデータを選んであとで、SD カードが抜かれました。	
	SD カードのフォーマットが不正です。	TR-8S で SD カードをフォーマットしてください (P.7)。
Read Error!	SD カードからデータを読み込むことができません。	SD カードが正しく挿入されているか確認してください。
	ファイルが壊れています。	このファイルは使わないでください。
Write Error!	SD カードにデータを書き込むことができません。	SD カードが正しく挿入されているか確認してください。
	SD カードのフォーマットが不正です。	TR-8S で SD カードをフォーマットしてください (P.7)。
SD Card Full!	SD カードの容量が不足しています。	不要なデータを削除してください。

メッセージ	意味	対応
Sys Mem Damaged!	本体保存領域の内容が壊れている可能性があります。	ファクトリー・リセットをしてください (P.22)。それでも直らないときは、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターにお問い合わせください。
MIDI Buff Full!	非常に大量の MIDI データを受信したので処理できません。	送信する MIDI メッセージの量を減らしてください。
MIDI Offline!	MIDI IN の接続が切られました。	TR-8S の MIDI IN に接続している MIDI ケーブルに異常はないか、また MIDI ケーブルが抜けていないか確認してください。
Program Error!	TR-8S の起動ができません。正常にプログラムが読み込めません。または、システム・アップデート用のプログラムが正しくない可能性があります。	正しいプログラムを使って、再度アップデートをしてください。それでも直らないときは、お買い上げ店またはお客様相談センターにお問い合わせください。
Now Playing!	演奏中のため、その操作は実行できません。	演奏を停止してから操作してください。
Now Recording!	録音中のため、その操作は実行できません。	録音を停止してから操作してください。
Not Found!	SD カード内に対象のファイルが見つかりませんでした。	SD カード内に対象のファイルがあることを確認してください。

主な仕様

ローランド TR-8S : RHYTHM PERFORMER

電源	AC アダプター
消費電流	2,000mA
外形寸法	409 (幅) × 263 (奥行) × 58 (高さ) mm
質量	2.1kg
付属品	AC アダプター、取扱説明書、安全上のご注意チラシ、保証書、ローランド ユーザー登録カード

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。